

令和4年度 技術力維持・向上対策研修（実践研修） 中部ブロック研修を実施

林野庁では、市町村の森林・林業行政を技術面で支援する役割を担う森林総合監理士をはじめとする技術者の技術水準の維持・向上を図ることを目的として、森林管理経営制度、地域森林・林業の再生、林業の成長産業化等に資する地域課題をテーマに、現地検討及びグループ討議等を通じて、現場レベルでの課題解決手法の習得を図る研修を、今年度は全国5ブロックで実施しました。

中部ブロックでは、9月13日から15日の3日間、岐阜県下呂市内において、「伐採・造林一貫作業システム（架線）と木材流通」をテーマに、富山県・石川県2名・長野県2名・静岡県・愛知県・滋賀県・広島県の各県職員9名、（国研）森林整備センター（三重県）職員、民間事業体（岐阜県森連）、国有林職員3名、計14名が参加し実施しました。伐期を迎えた林分の主伐を計画する上で、林地の状況等に応じた搬出方法の選択、低コスト造林や市場のニーズを踏まえた採材方法等について、課題解決の向上、実践的な指導・助言ができる技術者の育成を図ることとして、国有林の主伐・再造林事業地等を活用した現地検討及び意見交換を実施し、研修会場にて発表・討議を行いました。

【1日目】開講式、「伐採・造林一貫作業システム」、「採材・仕分け」の講義の後、架線搬出演習地について検討図面等による積算因子等の算出・伐採計画の演習、現地確認箇所の踏査準備を行いました。



開講式挨拶
(中部局 山口森林整備部長)



伐造一貫作業の説明
(森林整備課 大野田監査官)



事業予定地をドローン空撮画像にて説明
(森林技術・支援センター 安江専門官)



各班へ講師も入りサポート

【2日目】下呂市乗政国有林において、1日目に机上で計画した伐採・造林一貫作業実行箇所、架線集材検討予定地の検討を行い、「住友林業(株)岐阜樹木育苗センターにてコンテナ苗の生産について講義と見学及び意見交換」「下呂総合木材市売協同組合にて素材の流通・販売についての講義と木材市場の見学及び意見交換」を行い、研修会場の下呂市民会館に戻り発表準備を行いました。



伐採・造林一貫作業実施箇所での現地説明
(岐阜森林管理署 仲谷総括森林整備官
水野主任森林整備官)



各班現地にて架線集材各施設の検討



(住友林業(株)岐阜樹木育苗センター
川添シニアマネージャー(左)、木下氏(右))



スギコンテナ苗の育苗等について受講



木材の流通・販売について講義
(下呂総合木材市売協同組合 杉山理事長)



土場にて有利販売のための採材等の講義

【3日目】前日に続き下呂市民会館において発表準備を行った後、作業システムや搬出方法、造林作業の省力化、採材・流通販売等について発表及びディスカッションを行いました。発表の後は、各講師等から講評をいただき3日間の全日程を終了しました。



1 班の発表



2 班の発表



3 班の発表



4 班の発表



講評（林野庁 研究指導課 安富係長）



講評（中部局 資源活用課 日置企画官）



講評（林野庁 業務課 長 係長）



閉講式挨拶
（森林技術・支援センター 四ツ嶽所長）



集合写真（撮影時のみマスクを外しました）

◎受講生へのアンケート結果（抜粋）

- ・ 架線初心者でもなんとか理解できる内容だった
- ・ 伐採現場、育苗現場、市場を見学することができ中身が濃かった
- ・ 架線を用いた一貫作業システムの流れについて学ぶことができた
- ・ 一貫作業システム、コンテナ苗の活用は、経営計画、補助事業の確認などの指導のツールになる
- ・ 架線の索張や集材の方法などについてイメージができた
- ・ 今後架線集材が必要となってくるので、とても重要なテーマだと思う
- ・ 実際に架線で集材している現場を見たかった

お知らせ

技術力維持・向上研修につきましては、本年度をもちまして終了いたします。

多数の皆様にご受講いただき誠に有難うございました。（森林技術・支援センター一同）